

HPV ワクチンは一般に子宮頸がんワクチンとも呼ばれ、女性専用のワクチンであるかの印象を持たれています。しかし、HPV は子宮だけでなく男性、女性の様々な部位の粘膜に感染し、がんを生じさせることがわかっています。これまでに、中咽頭がん、肛門がん、直腸がん、陰茎がん、膣がん、外陰部がんも、HPV 感染から発生することが明らかになっています。とくに中咽頭がんの約半分は HPV 感染によるものです。

原因となる HPV の主な感染経路は性交渉ですが、通常的生活でも男女間でピンポン感染します。現在、日本の一般的青年男女のおよそ 30%は HPV 感染が陽性であることも分かっています。この社会に広がる HPV 感染を抑え込むためには、女性だけでなく男性にも HPV 感染を強力に予防する HPV ワクチン接種が極めて重要です。このことを重視して、すでに欧米各国では女性同様に 11~12 歳男子を定期接種の対象としています。

我が国でも、最近になりようやく男性への接種支援が自治体から行われるようになってきました。文京区では 2024 年 4 月 1 日から区内在住の小学 6 年から高校 1 年の男子について全額助成措置が行われます。使用するワクチンは国内で男性に承認されている 4 価 HPV ワクチン（ガーダシル®）です。接種回数は、年齢に関わらず 3 回です。